

2010年7月29日

日本医師会会長 原中 勝征 先生

「戦争と医の倫理」の検証を進める会

代表世話人 石川 徹
代表世話人 塩安佳樹
代表世話人 西山勝夫
事務局長 住江憲勇

貴会の支えにより開催される第28回日本医学会総会に関する懇談のお願い

謹啓 原中勝征日本医師会会長には、就任直後より大変ご多忙のことと存じます。医療を取り巻く情勢が厳しいだけに、原中勝征会長のご活躍に期待しています。これからの日本の医学・医療の向上と発展のため、ご尽力くださいますようよろしくお願い申し上げます。

さて、これからの医学・医療の発展には、人間の尊厳や人権を基本とすることが何より大切です。そのためには、ハンセン病患者の人権を無視した明治以来の日本の政策が「ハンセン病問題に関する検証会議」でその問題点を明らかにしたように、日本の医学者・医師がかつての戦争中に731部隊等で行った「人体実験」などの非人道的行為を史実にそって検証し、その教訓を生かすことが極めて重要となっています。

この目的のもとに、2007年大阪で開催の日本医学会総会に向けて、大阪の医師・医学者を中心に「第27回日本医学会総会出展『戦争と医学』展実行委員会」が結成され、関係者が当時の日本医師会植松治雄会長とも懇談し、731部隊問題等の歴史的検証の必要性では意見が一致しましたが、期日が迫っていたこともあり、医学会総会の企画として実現するまでには至りませんでした。

当会は、この「第27回日本医学会総会出展『戦争と医学』展実行委員会」の活動を継承する組織として、2009年9月27日、東京大学において100名の参加者のもとで設立しました。

ご承知のとおり、政権交代により、日米の核密約に関する日本側の証拠文書が外務省保管資料から発見されるなど史実の検証が進みつつあります。731部隊関連の資料も、米国防総省の当事者が「50年代後半に日本に返還している」との証言をもとに、日本の資料を全面公開し、「医の倫理」の視点から史実を検証するまたとない機会を迎えています。

日本医師会の大きな支えのもとで来年4月に開催される「第28回日本医学会総会」は、「いのちと地球の未来をひらく医学・医療—理解・信頼そして発展—」のメインスローガンのもとに、学術講演や展示企画などが準備されつつあります。

つきましては、原中勝征会長に当会の設立趣意の挨拶も兼ね、第28回日本医学会総会の企画などに関する懇談の機会をいただきたく、ご都合のよい日時を下記のFAX宛などでお知らせいただければ幸甚に存じます。よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

【添付】 設立趣意書、世話人会名簿

「戦争と医の倫理」の検証を進める会

(事務局) 〒151-0053

東京都渋谷区代々木2-5-5 (新宿農協会館6階)

全国保険医団体連合会 内 (担当 室井正)

TEL. 03-3375-5121 FAX. 03-3375-1862

e-mail : tadashi-mri@doc-net.or.jp

URL <http://AVIC.doc-net.or.jp>